

病を負うイエス

マタイによる福音書 八章 14 ～ 27 節

こうして、預言者イザヤを通して言われたことが実現した。「彼は私たちの弱さを負い／病を担った。」(17)

主イエスはペトロの家に行き、熱病のために寝ていたしゅうとめを癒やされました。すると、その話を聞きつけた人々が病人を連れて次々とイエスのもとへやって来ました。著者マタイは、この主イエスの行為に人々の罪を負うメシヤとしての姿を見いだし、イザヤ書のメシア預言を引用しました。主イエスがなされたのは単なる医療行為ではありませんでした。人間を病へと追いやり、その精神を破壊するところの悪の力、罪の力を取り除く全人的な癒やしをしておられたのです。主イエスは肉体の病を癒やされるだけでなく、私たちの全ての罪を負い、救いをもたらしてくださいさるメシアであることをマタイは伝えています。人として癒やさるべきさまざまな弱さや罪を抱えている私たちは、このお方を助けと頼み、この方のもとに集う者たちでありたいと思います。